

使側へJAM春闘方針説明

業種別7部会合同労使研修



JAM 2026年春闘生活闘争方針を説明するJAM浜博幸副書記長

JAMは15ある業種別部会のうち7部会（軽金属・住宅設備・鋳鍛造・鋼構造・ローブ製線・機械・精密時計）合同で使側に春闘方針を説明した「JAM業種別部会2026年度合同労使研修会」を1月23日～24日に滋賀県「琵琶湖グランドホテル」で開いた。

1日目の全体研修会では「企業を取り巻く環境～人手不足と日本経済～」と題し、日本大学経済学部教授・安藤至大氏が講演。「人手不足は構造問題」と位置付け、生産性向上のための方策や生成AIの活用方法等を解説した。また、生産性向上に関し参加者同士での議論や携帯電話を使ったAIに指示を与えるゲーム等も交え、コミュニケーションを取りながらの受講となった。



日本大学経済学部教授・安藤至大氏

講演後に使側に対してはJAM浜博幸副書記長が「JAM2026年春闘生活闘争方針」を説明、質疑応答でJAM方針と考え方を理解していただき、労側は各部会に分かれ代表者会議で各労組の春闘準備状況や企業状況などを共有し、2日目は各部会で労使会議全体会議を行った。

JAM組織内議員のおおたけりえ衆議院議員、郡山りょう参議院議員、準組織内の村田享子参議院議員からは通常国会召集日ためにメッセージが寄せられ、参加者へ披露された。

全体参加者は118人。



説明を聞きながら携帯電話のAIに指示を与える参加者